

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

千葉県

行事名称	第70回文化財防火デー
実施期間・日時	令和6年1月26日(金)10時～ 本土寺・戸定邸 29日(月)10時～ 萬満寺 31日(水)10時～ 松戸市立博物館
実施場所	①本土寺(松戸市平賀63) ②戸定邸(松戸市松戸642-1) ③萬満寺(松戸市馬橋2547) ④松戸市立博物館(松戸市千駄堀671)
主催者	各施設、松戸市消防局、管轄消防署、松戸市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

各寺の本堂や施設等からの出火を想定する。施設・敷地内からの通報・来客者の避難・救助及び重要文化財の搬送を行う。また、延焼拡大を防ぐため、関係者や地域住民による消火器、屋内・屋外消火栓を使用した初期消火を経て火元への放水・鎮火を想定する。

訓練の内容

火災発見、通報、避難誘導、初期消火訓練(施設毎に消火器・屋内・屋外消火栓・バケツリレー・煙道体験等実施)、AED操作、重要文化財(模擬)の搬出、消防演習(本土寺・萬満寺のみ)、を実施。

参加者及び役割分担

※①～④は上記の各施設の番号

消防署員 (①11、②3、③11、④5 : 計30人) 訓練総括指導①②③④、講評①②③④、消防演習①③

消防団 (①13、②20、③12、④40 : 計25人) 消防演習①③

会場関係者 (①6、②18、③1、④13 : 計38人) 119番通報①②③④、重要文化財の搬出①③、AED訓練④、初期消火訓練①②③④

教育委員会 (①3、②3、③3、④18 : 計27人) 全体総括①②③④、現場立会い①②、119番通報③④、AED訓練④、初期消火訓練②④

一般市民 (①26、②12、③21、④9 : 計68人) 避難誘導訓練①②③④、初期消火訓練①②③④

特に工夫した点

消防演習やバケツリレー等、コロナ禍以前の訓練内容を実施した。また、各自治会へのポスター掲示や、広報誌に掲載し、一般市民の参加者の増員を目指した。昨年度より参加者を増員することができた。

問題点・課題

各施設の職員数や設備等が異なるため、各場所の実状に合わせた訓練を検討していく。また、市教育委員会の所管する国の登録有形文化財「旧齋藤邸」についても訓練実施の検討が必要である。

その他

毎年文化財防火デーに合わせ、継続的に消防訓練を行うことで、会場並びに地域住民の防火防災及び文化財保護の大切さを地域で確認する機会となっており、今後も継続実施していくことが重要である。

訓練風景

(本土寺)



(消防演習)



(煙道体験)

(戸定邸)



(通報訓練)



(放水銃訓練)

(萬満寺)



(消防演習)



(屋外消火栓訓練)

(博物館)



(トレーナー消火器訓練)



(AED講習)